

監 査 報 告 書

2020年5月25日

社会福祉法人新川中原保育会
理事長 長澤 正雄 殿

監事 大西 勲



監事 中西 穂子



私たち監事は、2019年4月1日から2020年3月31日までの、2019年度の理事の職務の執行について監査を行いました。その方法及び結果について、次の通り報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び職員等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び職員などからその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決済書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。以上の方法により、当該会計年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該会計年度に係る計算関係書類（計算書類及びその附属明細書）及び財産目録について検討しました。

2 監査の結果

① 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 理事の職務の遂行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。

② 計算関係書類及び財産目録の監査結果

計算関係書類及び財産目録については、法人の財産、収支及び純資産の増減の状況を全ての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

以上

今回の内部監査は、新型コロナの関係で資料を送ってもらって自宅での作業となりました。全ての資料を送ってもらうわけにもいかず、担当者も同席していないという中でしたが、理事長、各園担当者とのメールでのやり取りなどの協力を得て、行うことが出来ました。いくつか気になったことを書き出しておきます。

2019年度は、法人の運営面、保育の内容面などで大きな課題に直面しました。事業活動報告書を読んで、今後の法人運営、保育に生かせるよう、理事会でよく話し合い、教訓とするようにしてほしいと思います。

児童処遇関係で、みたかと成城は「必要な部分に職員を加配」とありますが、厳しい財政状況の中での増配置なので、具体的に記入したほうが良いと思います。

ヒヤリハット、事故報告書では、各園とも職員全体のものにする努力をしていますが、同じ事例のヒヤリが繰り返されていて、事故につながらないようにどう対応したのか、記入がないのもあり、改善して欲しい。

有給の取得については前進がみられるが、運営部の人の取得は努力が必要。成城のパートの人で取らない人がいるが、改善できないのか。

苦情解決では、第三者委員の記入がないのがありました。また報酬金額が規定より安い園がありました。

経理面では、各園とも適切に処理されており、証憑類も丁寧に見やすいものになっています。成城の振替伝票に、理事長欄があり、押印されていました。税理士さんと相談したのですが、振替伝票に必要か検討して下さい。また、理事長印が使われていて、印鑑の管理については、指導監査でも重視されていますので、厳密にしてください。

決算書に基づいて3つの資料を作成しました。いずれも3園の実情を示しています。三鷹は安定しています。世田谷は人件費の増が資産のダウンにつながり、大きな修繕が出た時には注意が必要になります。成城は資産を年々少しずつ減らしており、厳しい運営が続きます。

2019 年度監査報告書

5 月 29 日

5 月 19 日・26 日に社会福祉法人新川中原保育会の監査を行いました。

新型コロナウイルス感染が心配される中で、今年度は特別な形の監査となりました。

緊急事態宣言の出ている世田谷区では感染者数が多いということもあり、応急保育体制となっていました。子どもたちの出席はかなり少ない状況でした。みたかつくしんぼの子ども数は世田谷区に比べて多く、給食の提供もありました。区の方針によって違いがある中での監査となりました。

3 園の重点的に行う書類をみたかつくしんぼへ送って頂き、監査を行いました。また、世田谷つくしんぼ、成城つくしんぼへは 短時間ではありましたが、書類、園全体の状況を確認しました。

大西監事と監査箇所が重なっているところもありますが、複数の目で確認させていただきました。

- みたかつくしんぼ保育園 5 月 19 日 (火)
- 世田谷つくしんぼ保育園 5 月 26 日 (火)
- 成城つくしんぼ保育園 5 月 26 日 (火)

通常監査とは違い、長時間を避けての監査となりました。不十分な点もあるかと思われませんが、ご了承下さい。

今年度も重点的に下記の書類等、見ました。

- ・職員休暇取得状況
- ・職員会議録
- ・研修記録
- ・事故簿 (ヒヤリハット含む)
- ・防災関係書類
- ・苦情に関する書類
- ・給食献立表・内容 (みたかは給食を実施していたので検食)

- ・保育室の危険箇所点検
- ・日誌関係
- ・遊具の充実状況
などです。

3園共通で感じた点ですが、各園の玄関を入ると同時に職員の皆さんが笑顔で迎えて挨拶をされました。

挨拶は簡単なようですが、園の雰囲気を感じられる大事な点だと思います。

毎年、感じるのですが、3園とも日頃から「こどもの最善の利益」に基づいた保育を追求されているところだと思っています。

「子ども達のため」により良い保育をしていきたいという情熱が感じられます。全職員間での学び合いを位置づけ、多くの幅広い研修に取り組んでいました。そして、研修を踏まえた上で実践し、職員集団で振り返りを行い、次へとつないでいく基本ができていると思います。書類も丁寧に記入されていました。集団での話し合いも和気あいあいとしていて、楽しそうでした。

- ・ヒヤリハットの中に、昨年度も指摘したと思いますが、同じクラスの子どもの名前が何度も出ていたので園長に確認したところ、職員間の連携不足で問題点は明確になっていること、しっかり対応したと報告がありました。問題点をいち早く見つけ、全職員の共通理解の中で対応していくという大事な点が抑えられていたので、安心しました。

今後に向けて

- ・職員間で保育観の違いについて退職者も出たことが総括文書に出ていました。専門家の第三者にも入って頂き、時間をかけて全職員に聞き取りもされました。この件は、再度、議題で取り上げ、問題点や今後の対応策について、時間をかけて法人の財産になるような取り組みがあるとよいのではないかと思います。職員の個性、保育観など職員は様々です。そんな中でコミュニケーションを取りながら、よりよい保育を追求していく喜びを全職員で共感・共有していけるよう期待しています。

監事 中西純子